



きりん組だより2022年度8月号

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

毎日子どもたちは汗びっしょりになるくらい、体を動かして過ごしています。以前よりも水分補給を自分からできるようになってきました。新型コロナウイルスが増加傾向になっているので、引き続き感染症予防対策を行いながら過ごしていきたいと思えます。



クラスの様子

4月から言葉の面でトラブルになることが多いきりん組ですが、保育者は日々関わりながら仲立ちをしたり、気持ちを代弁したりしています。なにか少しでも嫌なことがあると、目の前の友だちではなく保育者の元へきて「〇〇ちゃん、〇〇くんがこわいかおしちゃった」「おはなししているのに、きいてくれない」「ごめんねしてくれない」などを話してきます。これから先も友だちと関わっていく上で相手に思いを言葉にして伝えることを大切にしてほしいので、まずは自分でお友だちに気持ちを伝えてみることから始めています。話しかけていても無視をしてしまったり、顔を見ずに遊び続けたりする子もまだまだいます。また、言葉で伝えるものの、体を使って押しながら気づかせようとする子もいます。そういう時は「〇〇ちゃんお話しているよ?」「お顔見ようね」など伝え、子どもたちで会話が成り立つきっかけを作っています。保育者はそばですぐ声を掛けるのではなく、子どもたちのやりとりを見守り、必要に応じて声掛けしています。現在、過去、未来、時系列はまだまだ自分たちの中で理解できていないので、今日あったトラブルを次の日に持ち越しても、何のことだろう・・・となってしまうことがあるので、保育園ではその場で解決しています。成長の一つとして嘘をつくようにもなります。双方の意見を汲み取り、お互いが納得して降園できるようにしています。ご家庭でもお子さまから園の様子、友だちとの様子など様々聞かれるとは思いますが、何かありましたら担任にお知らせ下さい。



交通安全教室



交通安全教室に参加しました。警察官の方から交通ルールの話がたくさん聞き、改めて安全って何だろうということが分かったと思います。普段散歩にいても道路を渡る時に手を挙げずに渡る子がいますが、手をあげるという意味を知り、子どもたちには、いいきっかけになったのではと思います。散歩で話に夢中になり、列から飛び出して車の通らない道路側にでしてしまうこともあるので「車が来てなくても端っこを歩くのよ」と伝えました。保育者だけでなく、友だち同士でも自分の身を守れるようになってほしいです。

遠足ごっこ

新型コロナウイルスの影響でバス遠足は延期になってしまったので、貝の浜公園や新貝の浜公園で遊びました。園外保育の時にも関わりを楽しんだ「にこにこまんグループ」に分かれ遊び、手を繋いで歩いたり、一緒にお弁当を食べました。「たのしかった」「おもしろかった」と子どもたちからの感想でした。ご多忙の中、お弁当やその他必要なものの用意にご協力いただき、ありがとうございました。



❖いつも様々なことにご理解とご協力ありがとうございます。

汗をかいた時など、こまめに着替えをしますので、常に洋服の補充をお願いいたします。